

東京証券取引所 市場第一部

証券コード6926

# 岡谷電機産業株式会社

## 2017年度（2018年3月期）

### 決算説明会

2018年5月30日（水）

# 目次

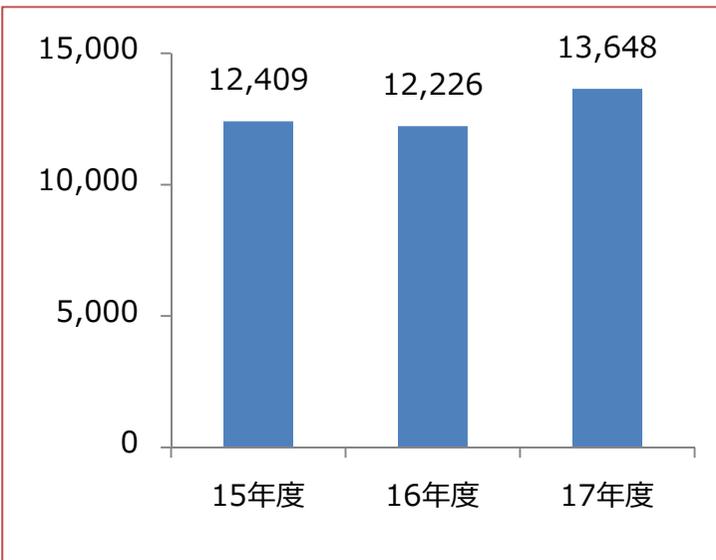
第1部	2017年度	決算概要
第2部	2018年度	計画値
第3部	経営方針	

# 第 1 部 2017年度 決算概要

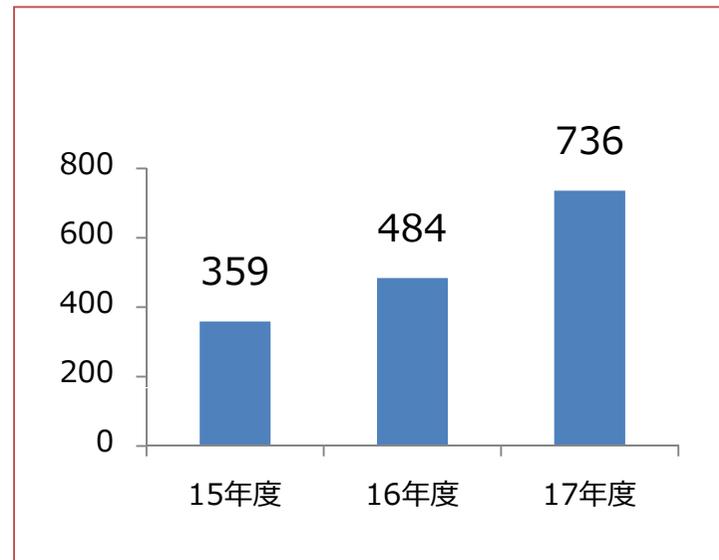
# 1. 決算ハイライト

売上高	136億48百万円	(前年比112%)
営業利益	7億36百万円	(前年比152%)
純利益※	4億36百万円	(前年比119%)

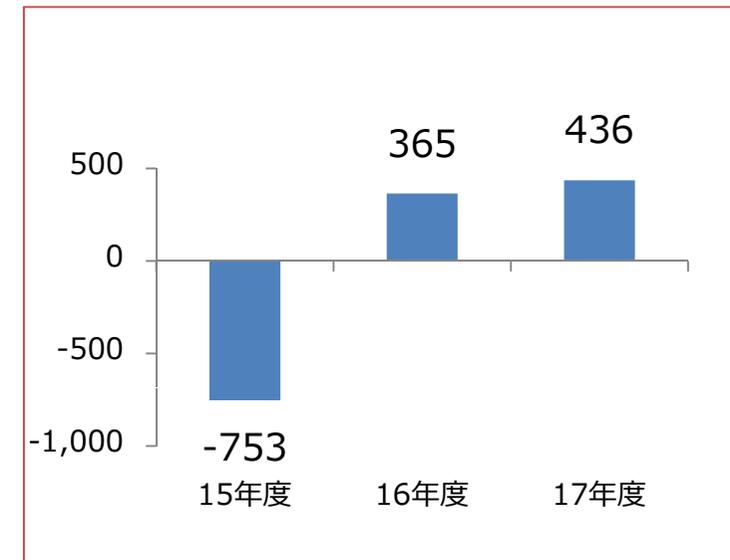
売上高  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



純利益※  
(百万円)



※親会社株主に帰属する純利益

## 2. 損益計算書

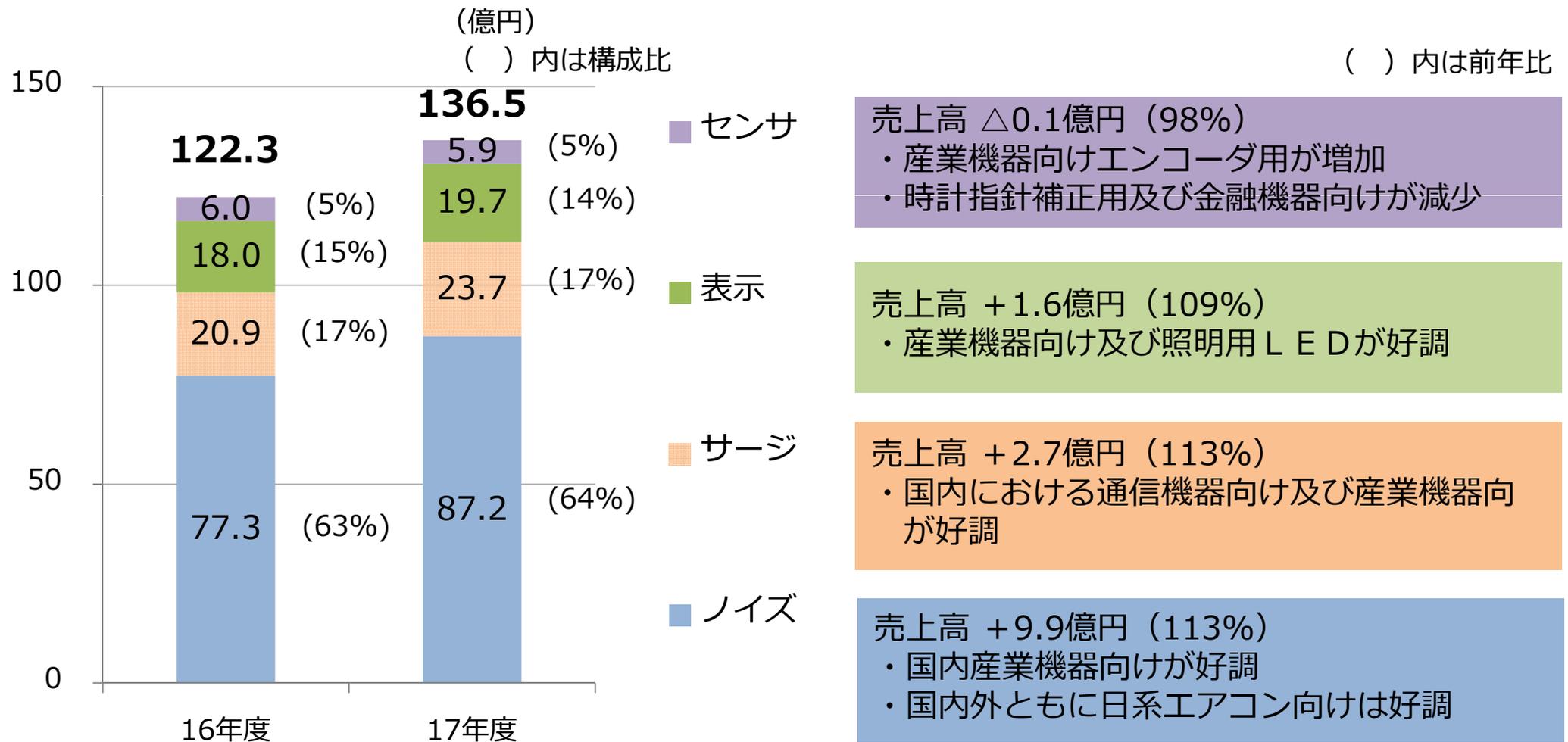
(百万円)

為 替 : 1 USD = 108.93円 → 111.21円

	16年度	17年度	前年比	
<b>売上高</b>	<b>12,226</b>	<b>13,648</b>	1,422	<b>112%</b>
ノイズ	7,730	8,721	991	113%
サージ	2,090	2,364	274	113%
表示	1,800	1,967	167	109%
センサ	604	594	△10	98%
国内	5,807	6,812	1,005	117%
海外	6,418	6,836	418	107%
アジア (万USD)	5,003	5,302	299	106%
欧米 (万USD)	887	844	△43	95%
海外 (万USD)	5,892	6,147	255	104%
<b>営業利益</b> (利益率)	484 (4.0%)	736 (5.4%)	252	152%
<b>経常利益</b>	468	571	103	122%
<b>純利益</b>	365	436	71	119%

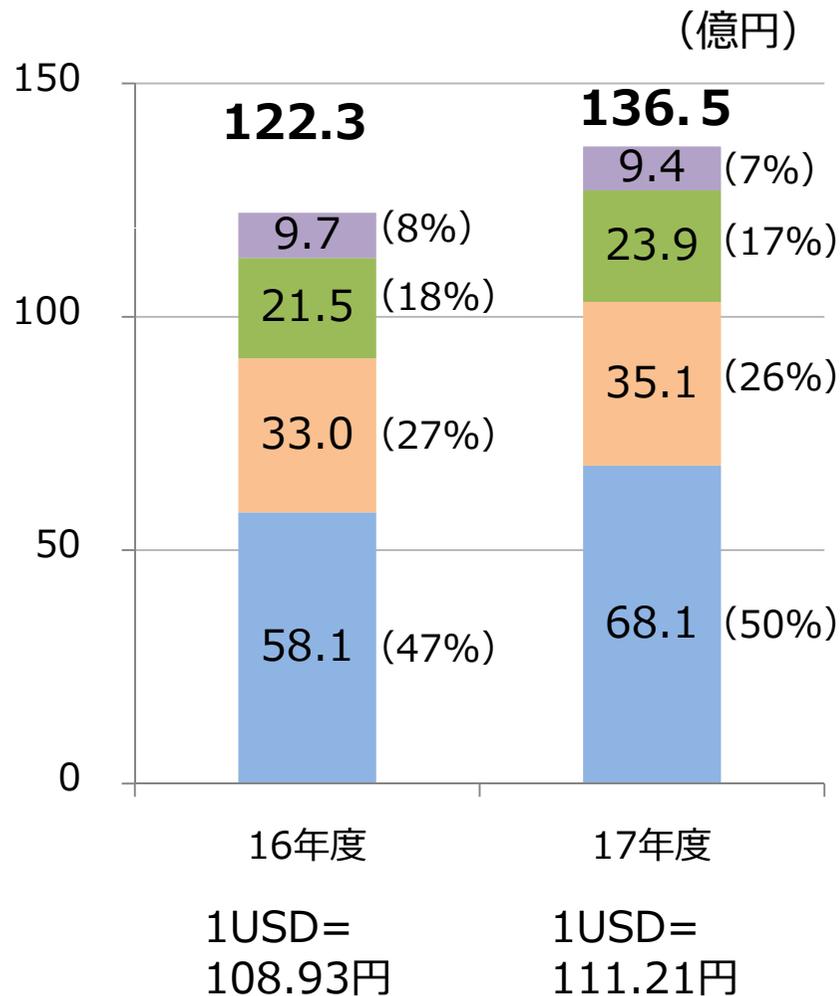
# 3. 売上高（セグメント別）

- ・セグメント別の構成比に変化なし
- ・国内向けの需要が好調（特に産業機器向け及びエアコン向け）

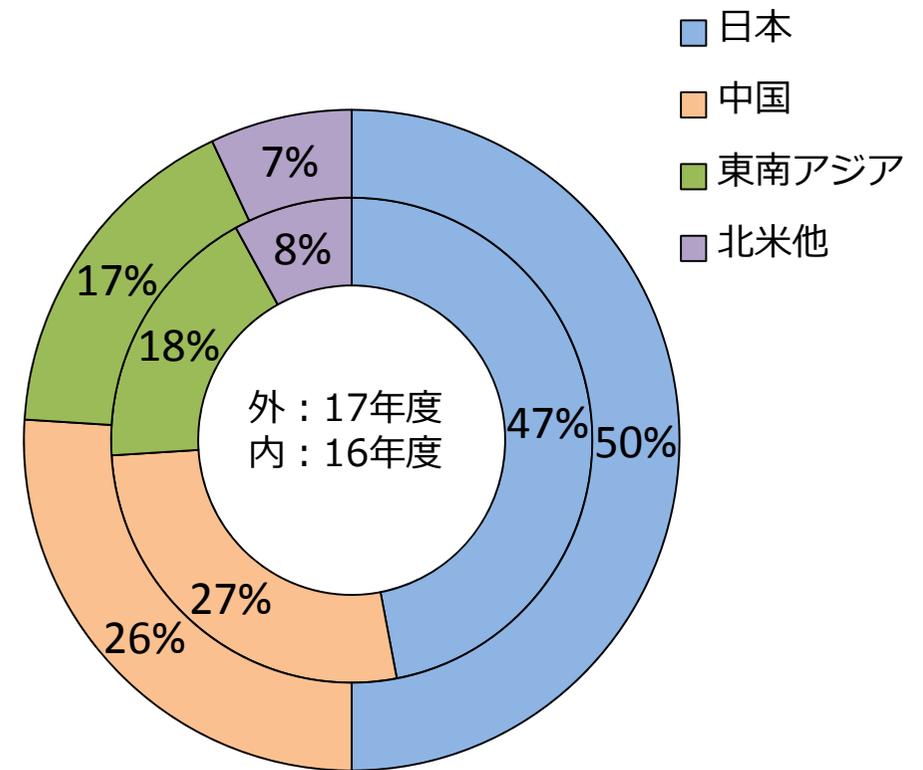


# 4. 売上高（地域別） 顧客所在地

- ・産業機器向けに牽引され、国内売上が大幅増（17%）
- ・エアコン向けを中心に、東南アジア、中国も堅調

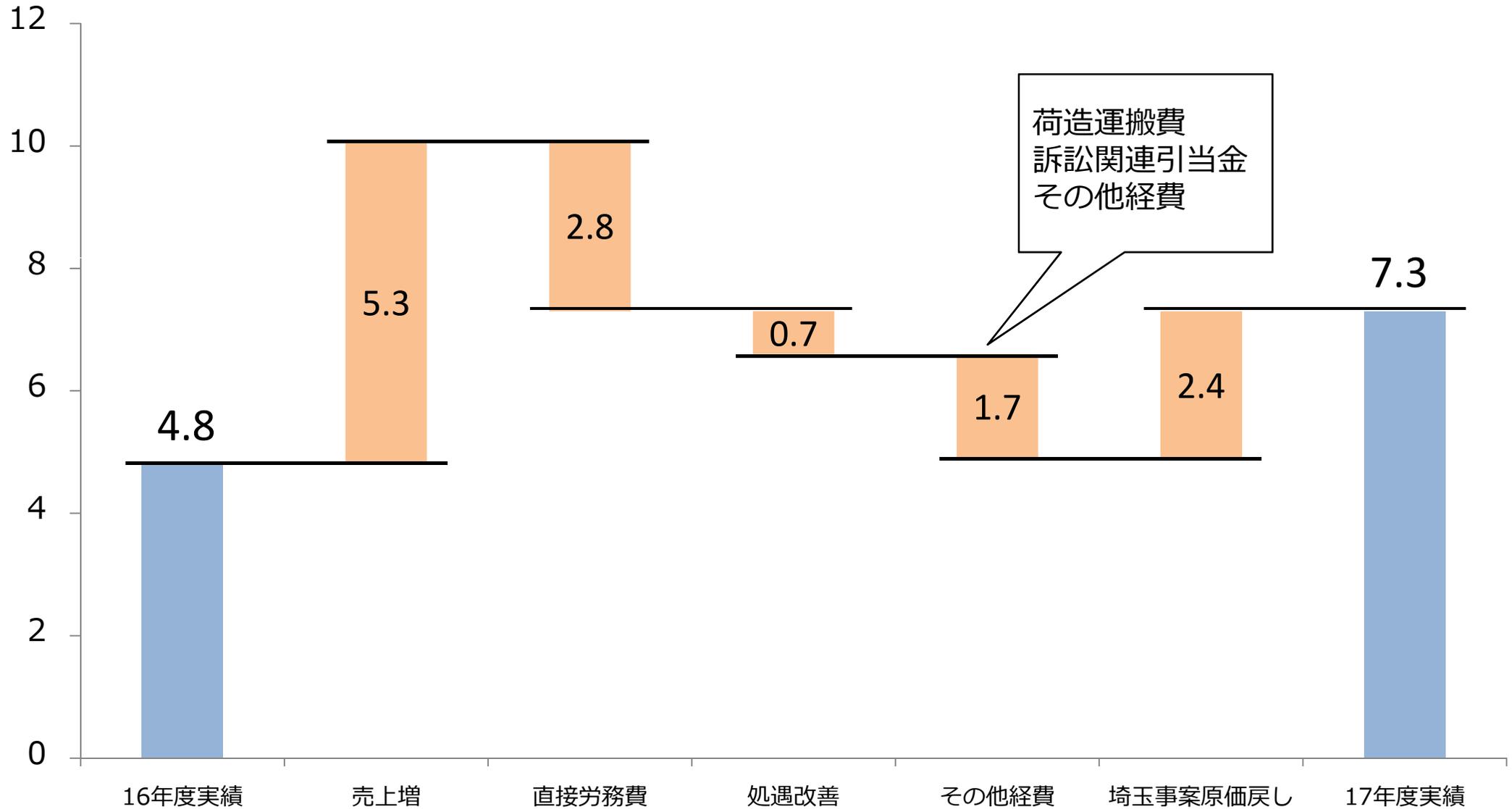


(参考) 16年度レートでの構成比率比較



# 5. 営業利益の増減要因

(億円)



# 6. 貸借対照表

・総資産144億円⇒159億円（+14億円増）。主に借入金増14億円による。

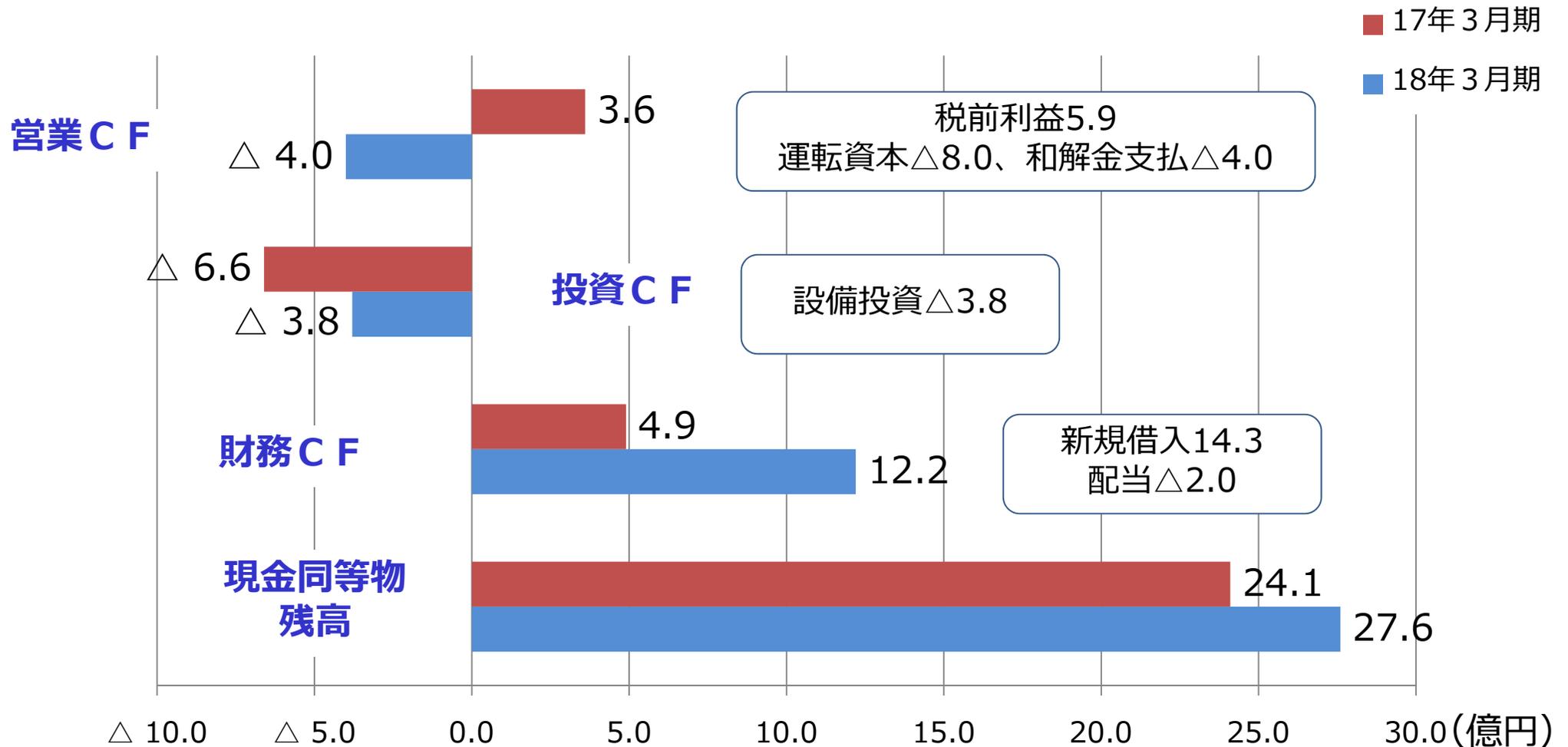
			16年度	17年度	前年比	(百万円)
資 産 部	流 動 資 産	現 預 金	3,417	3,758	341	現金 + 3 億円
		売 上 債 権	3,962	4,555	593	運転資本 + 8 億円
		棚 卸 資 産	1,593	1,815	222	
		そ の 他	355	573	218	未収入金 + 1.1 億円 (回収済み)
	流 動 資 産 合 計		9,327	10,701	1,374	
	固 定 資 産	有 形 / 無 形	2,740	2,783	43	設備投資4.1億円 償却額△2.5億円 表示減損△0.3億円 他
		投 資	2,382	2,422	40	
固 定 資 産 合 計		5,122	5,205	83	評価益増0.6億円	
負 債 部	有 利 子 負 債	1,618	3,046	1,428	新規借入14億円	
	そ の 他 負 債	3,635	3,525	△110		
純 資 産 の 部		9,196	9,335	139		
総 資 産		14,449	15,906	1,457		
自 己 資 本 比 率		63.6%	58.7%	△4.9%		

# 7. キャッシュ・フロー

・現預金増3億円

(キャッシュイン) 利益6億円、新規借入14億円

(キャッシュアウト) 運転資本8億円、設備投資3億円、和解金支払4億円、配当2億円等



## 8. カルテルの状況

### 【集団民事訴訟】

**米国**

**和解済**

→集団訴訟から離脱した原告との交渉が想定以上に長期化。引き続き対応が必要となったため、引当金1.7億円を計上

**カナダ**

**和解済（裁判所承認待ち）**

### 【競争法規制当局】

**米国・台湾**

**調査終了**

**複数の国**

**調査継続中**

## 第2部 2018年度 計画値

# 1. 業績予想値

・売上高は17年度比1%成長を計画

想定為替レート：105円

## 年間

	17年度実績	18年度計画	
売上高	13,648百万円	13,800百万円	(101%)
営業利益	736百万円	550百万円	(75%)
純利益 ※	436百万円	370百万円	(85%)
	(1USD=111.21円)	(1USD=105円)	

## 上期

	17年度実績	18年度計画	
売上高	6,715百万円	6,800百万円	(101%)
営業利益	288百万円	250百万円	(87%)
純利益 ※	205百万円	160百万円	(78%)

※親会社株主に帰属する純利益

## 2. 売上高・利益計画

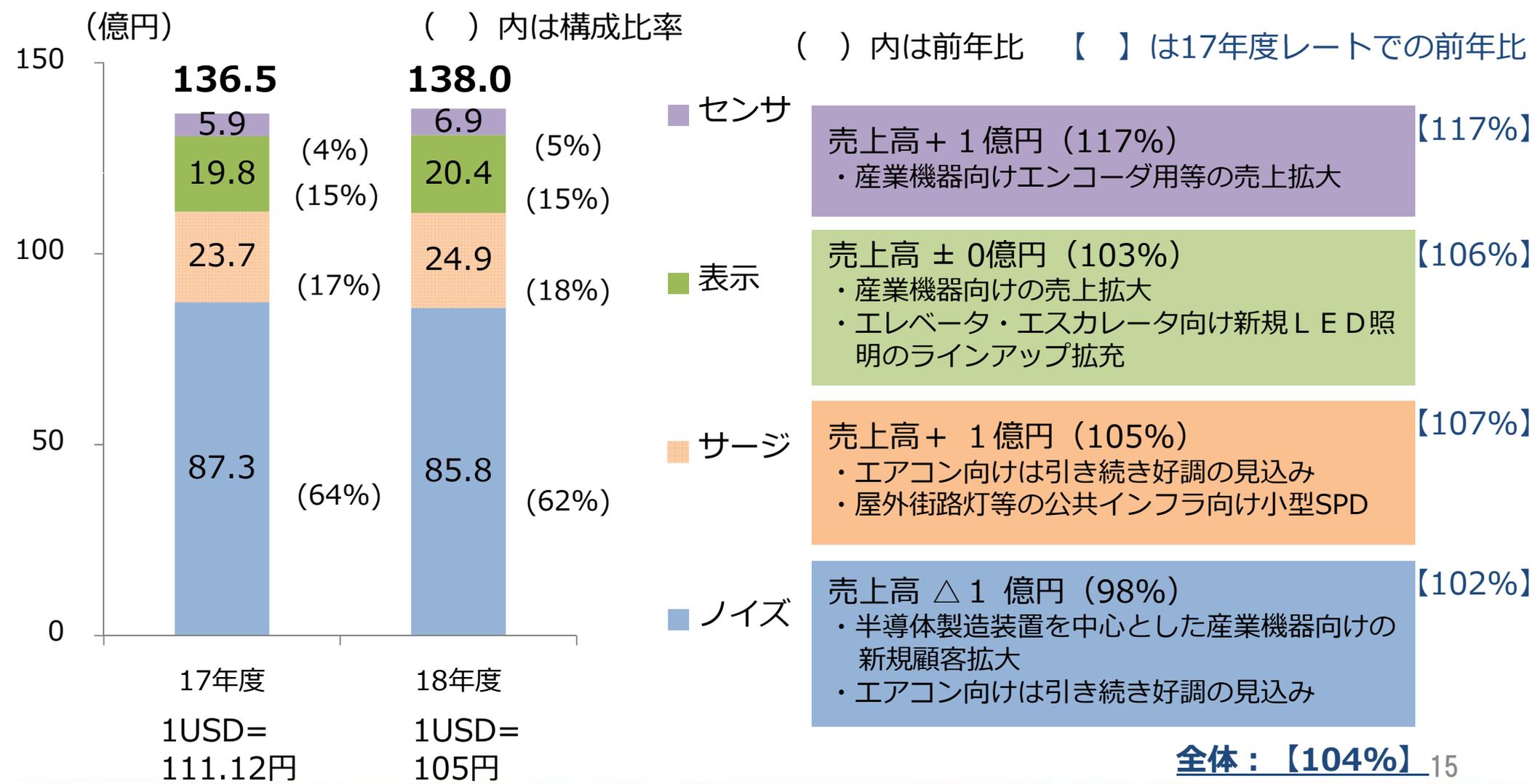
為替：1 USD = 111.21円 → **105円**

(百万円)

	2017年度	2018年度	前年比	
<b>売上高</b>	<b>13,648</b>	<b>13,800</b>	<b>151</b>	<b>101%</b>
ノイズ	8,721	8,579	△142	98%
サージ	2,364	2,485	120	105%
表示	1,967	2,037	69	104%
センサ	594	699	104	118%
国内	6,812	7,143	330	105%
海外	6,856	6,657	△179	97%
アジア (万USD)	5,306	5,450	149	103%
欧米 (万USD)	860	890	43	105%
海外 (万USD)	6,166	6,340	192	103%
<b>営業利益</b> (利益率)	741 (5.4%)	550 (4.0%)	△186	75%
<b>経常利益</b>	583	510	△61	89%
<b>純利益</b>	446	370	△66	85%

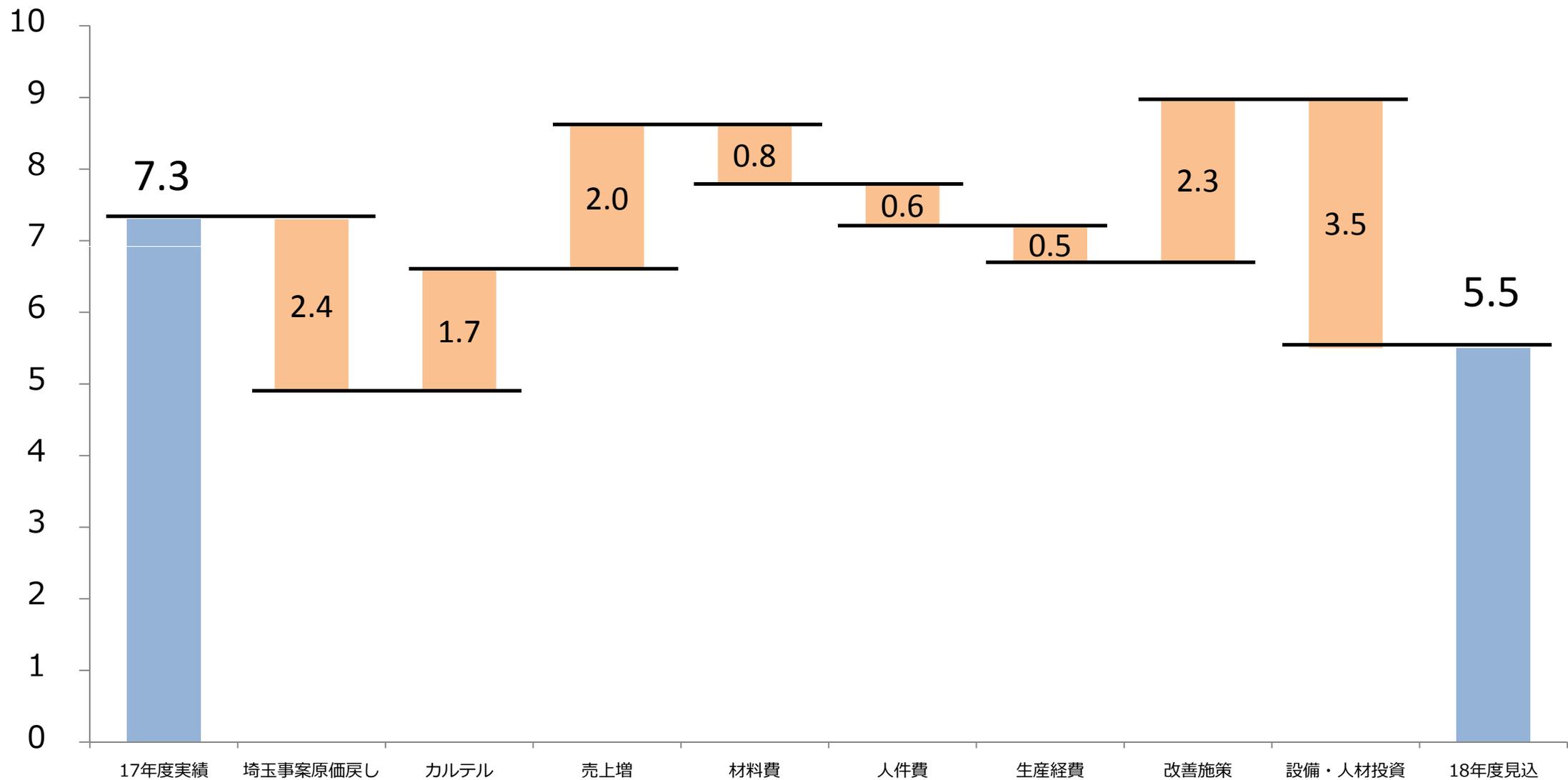
# 3. 売上高（セグメント別）

- ・円高影響により売上高は1%増の見込み（実質成長は4%）
- ・エアコン、産業機器（ロボット、半導体製造装置）、医療機器、LED照明に特に力を入れる
- ・センサ製品を将来の成長分野のひとつと位置づけ、売上を伸ばす（17%増を目指す）



# 4. 営業利益の増減要因

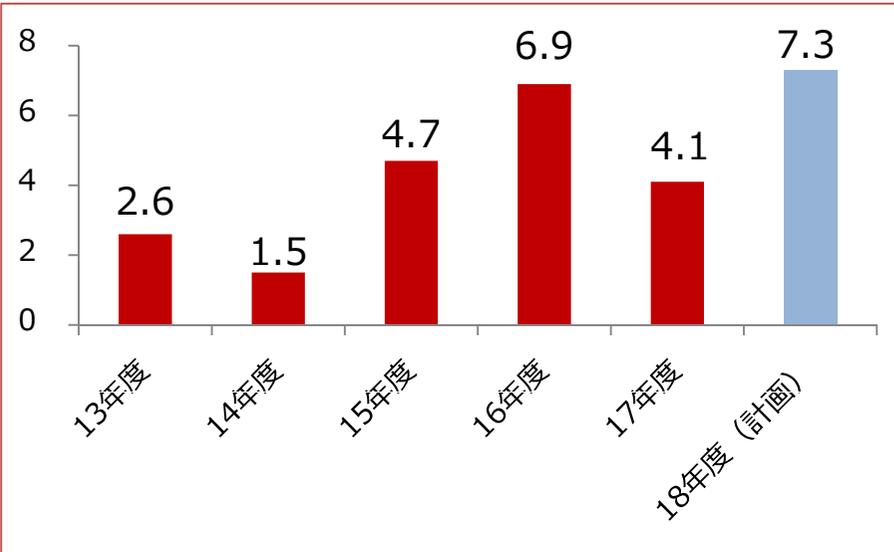
(億円)



# 5. 設備投資・研究開発費

設備投資：総額 7 億円

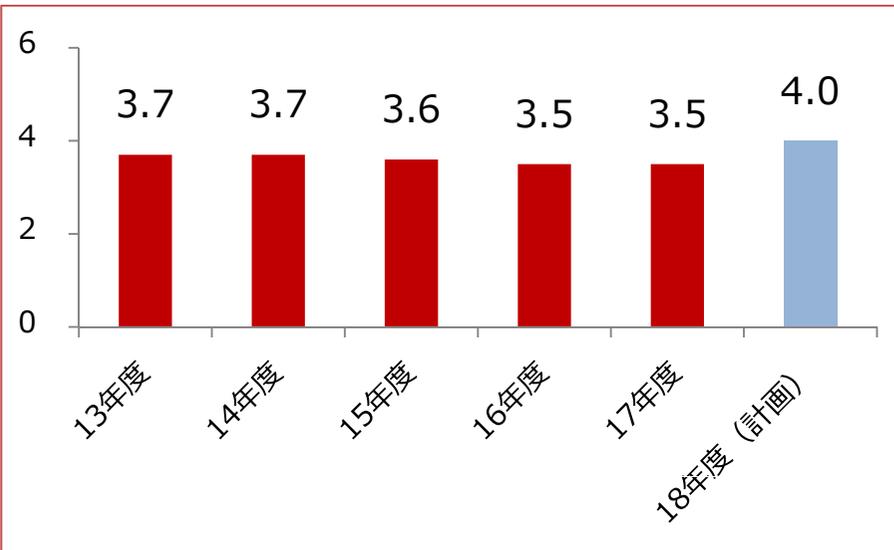
本年度連結範囲分（100%子会社のみ）



## 主な投資内容

- ・ 中国工場：新製品立ち上げ
- ・ スリランカ工場：省人化設備
- ・ 埼玉工場・OSD：材料内製化、新製品立ち上げ
- ・ 福島工場：新製品立ち上げ
- ・ 基幹システムの刷新

研究開発費：総額 4 億円



## 主な開発テーマ

- ・ 高信頼性（大容量・大電流・高周波）コンデンサ
- ・ AC/DC電源用新型サージアブソーバの開発

## 6. 配当計画

### 本年度配当計画

- 1株あたり年間9円（中間配当4円） \* 据え置き
- 配当性向 54%

## 第3部 経営方針

### 第10次中期経営計画（2018～20年度）の骨子

# 1. 第9次中期経営計画の振り返り

- 顧客ニーズの変化に対応した「サーミアブソーバーのセラミック対応」で埼玉に自動化した新工場完成
- △ 「技術を中心としたもの作り職場の体制作り・土台作りを進める」「電源コイルの事業体制再構築」「東莞工場の省人化」「スリランカ工場は年内に3000万個体制を確立」など主要課題の進捗に課題を残した

	第9次中期経営計画			
	17年度	15年度	16年度	17年度
	当初目標	実績		
売上高	150億円	124億円	122億円	136億円
年率成長	5%	△8%	△1%	11%
営業利益	10億円	3.6億円	4.8億円	7.4億円
営業利益率	7.0%	2.9%	4.0%	5.4%
ROE	7.0%	△8.1%	4.1%	4.7%

## 2. 第10次中期経営計画の骨子

### 1. 今次中計のビジョン

- \* **100年成長企業**を目指し「10年後も勝ち続けるOKAYA」を構築する
- \* 車載産業へ参入する基礎をつくる
- \* 技術力・商品供給力を磨き 顧客の信頼を勝ち取り、OKAYAブランドを強固なものとする

### 2. 経営目標…売上・利益等の計画

- \* 2020年度到達目標
  - ・ 売上 152億円 年率成長 5%
  - ・ 営業利益 9億円 営業利益率 5.9%
  - ・ ROE 7.0%
  - ・ 新商品比率 30%

### 3. ビジョン実現・経営目標達成に向けて

#### 営業：製品別営業戦略を実行できる体制構築

- ・ 顧客のニーズを深掘りして商品開発にフィードバックして、ニーズに応える営業体制をつくる
- ・ 2018年度は「LED営業」専任の組織を設置。以降、順次拡大する

#### 事業企画：新規事業を立ち上げ

- ・ 当社の将来を支える新規事業を創出する
- ・ 新規事業実現のために外部の力を積極的に活用する
- ・ AI、IoTを社内に取り込むため産学協同を推進する

#### 企画開発：共振用コンデンサの開発に注力する

#### 生産：機能別組織への転換（概念図 次ページ）

- ・ ノイズフィルタ技術部が2018年中に長野から埼玉へ  
→サージ技術とのコラボレーションで新商品を開発
- ・ 車載産業へ参入する開発力と生産力の基礎を10次中計の3年間で固める  
→不十分な状態での参入はせず、確かな基礎をすることでOKAYAブランドを守る  
→「車載品質工場」を実現する

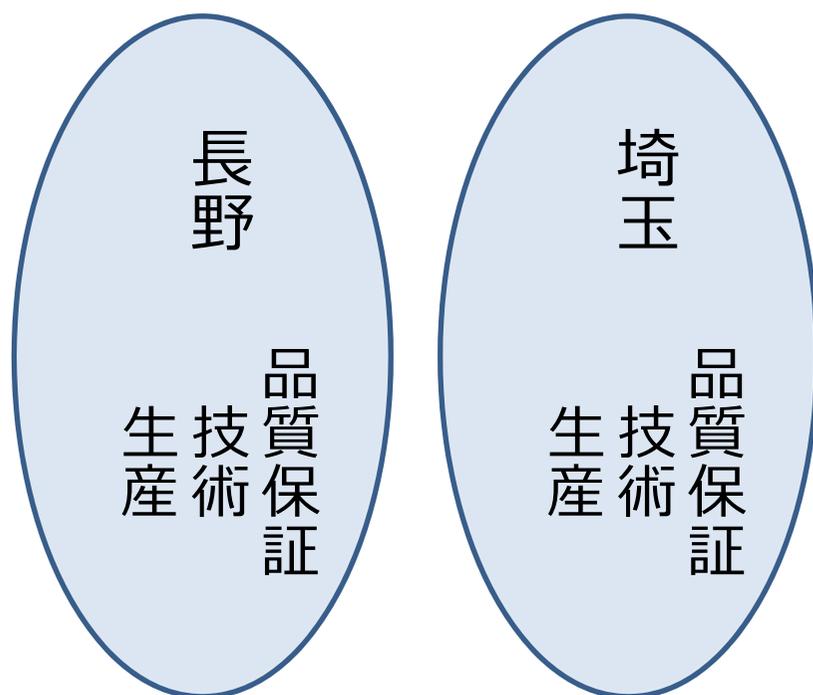
#### 管理：企業文化の醸成、人材の強化（育成・獲得）

- ・ 仕事の基本を組織全体に浸透させる
- ・ 人材の育成に注力する
- ・ 機動的に外部の人材を獲得する

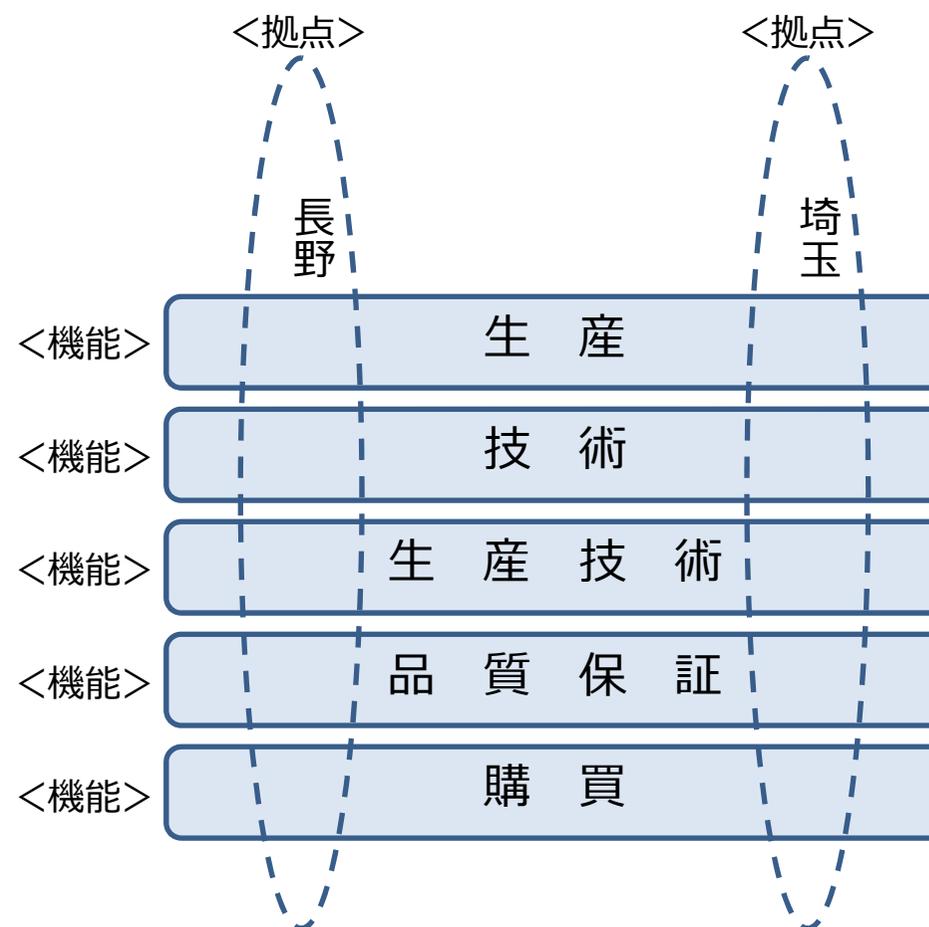
### 3. 生産体制の在り方：地域別から機能別へ

- ・長野・埼玉に分散していた社内ノウハウを全社で生産部門全体で有効活用  
→機能別の体制の構築へ

現状



目指す姿



# ご参考：新役員体制

(2018年6月26日以降)

## 【取締役】

役職	氏名
代表取締役	山田 尚人
取締役	清田 宗明
取締役	高屋舗 明
取締役	昨間 英之（社外）
取締役	房前 芳一（社外）

## 【監査役】

役職	氏名
常勤監査役	吉村 太一（社外）
監査役（非常勤）	吉野 卓
監査役（非常勤）	湯澤 公明（社外）
補欠監査役	林 孝光

## 【上席執行役員・執行役員】

役職	氏名
社長執行役員	山田 尚人
専務執行役員	清田 宗明
上席執行役員 営業本部長	高屋舗 明
上席執行役員 経営企画室長	本間 勤
上席執行役員 管理本部長	中山 淳
上席執行役員 管理本部副本部長	黒崎 政道
執行役員 営業本部副本部長	加藤 力
執行役員 生産本部長	三澤 学
執行役員 生産本部副本部長	翠尾 武

# Components of the future

未来の部品

## ご清聴ありがとうございました

連絡先窓口：経営企画室

メールアドレス：OEI\_Kouhou@okayaelec.co.jp

電話番号：03-4544-7000

FAX番号：03-4544-7007

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。